

地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージの更新について

・総合振興パッケージは、全国の多様な大学が、戦略的な経営の展開を通じて自身の強みや特色を発揮し、新たな価値を創出するとともに、あらゆる知見を総合的に活用し、グローバル課題の解決や社会変革を牽引することを目的とする。
・重層的に展開されている各府省の複数の事業を「繋ぐ」ことや仕組みを政府一丸となって支援強化するとともに、本パッケージを大学、自治体、産業界の関係者に広く周知し、地域の中核・特色ある研究大学が、我が国の成長の駆動力として、それぞれのポテンシャルを最大限発揮することを期待する。

- 令和4年2月1日、パッケージをCSTI本会議にて決定。
- 令和5年2月8日、対象事業の量的な拡大及び目指す大学像に向けて大学自身の立ち位置を振り返る「羅針盤」の考え方の提示等質的な拡充を図り、CSTI本会議にてパッケージを改定。
- 令和6年2月20日、予算額の令和6年度政府予算案への更新・対象事業の追加及び参考事例等の時点更新をおこない、CSTI本会議にてパッケージを改定。あわせて、予算額や参考事例等年次での時点更新が発生する部分については「別紙」とし、次年度以降の時点更新はCSTI有識者会合（木曜会合）への報告で対応できるようパッケージの構成を変更。
- 令和7年2月27日、「別紙」のみ、予算額の令和7年度政府予算案への更新・対象事業の追加及び参考事例を時点更新。
- 今回は、「別紙」のみ、予算額の令和8年度政府予算等への更新・対象事業の追加及び参考事例等の時点更新を行う。

主な更新箇所

- ◆ 令和8年度予算額 **381億円**（令和7年度予算額 434億円）
- ◆ 令和7年度補正予算額 **731億円**（令和6年度補正予算額 151億円）

この他、関連事業として、

令和8年度予算額 1,120億円（令和7年度予算額 1,226億円）

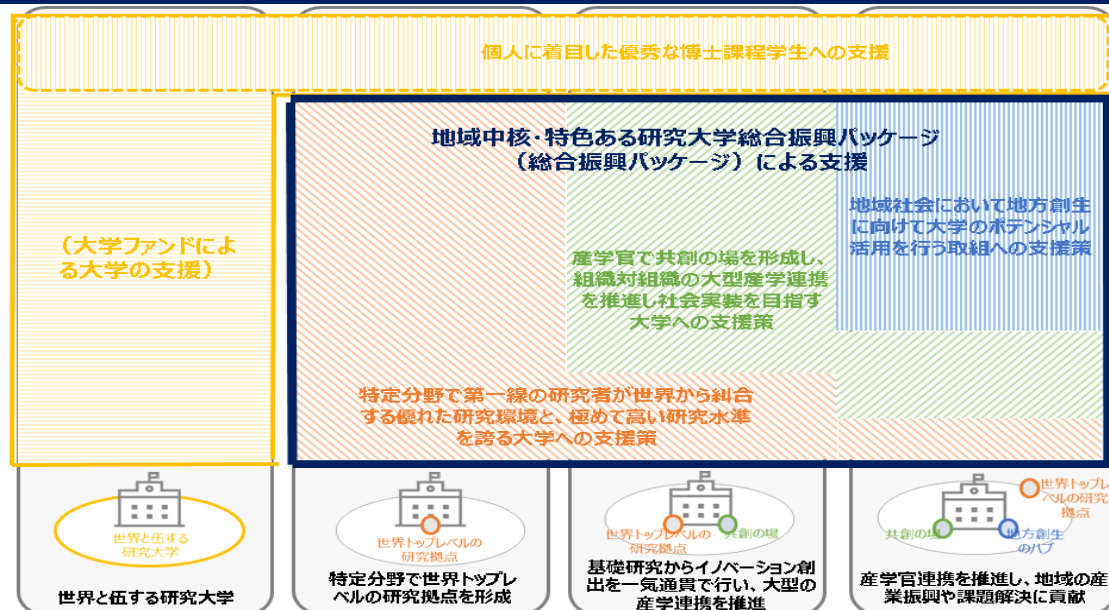
令和7年度補正予算額 570億円（令和6年度補正予算額 936億円）

を計上

（注）予算規模については、内数のものも総額を計上。

- ◆ 戦略的大学改革・イノベーション創出環境強化事業の追加
- ◆ 大学と地域を繋ぐ人材・組織の表彰（日本オープンイノベーション大賞）の令和7年度採択事例への更新

地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージについて



非
予
算

② 繋ぐ仕組みの強化

- 地域内に作られている産学官ネットワークを整理し、活用を促進することで、地域の産学官ネットワークの連携を強化
- 大学と地域社会を繋ぐ（社会実装を担う）観点で**ロールモデル**となるような繋ぐ人材・組織の表彰・発信
 - （事業の例）
 - 日本オープンイノベーション大賞の活用 など

予
算

① 大学自身の取組の強化（381億円）

- 研究の多様性・卓越性の発展機能の強化に向けて、特色化を目指した魅力ある拠点形成を支援
 - （事業の例）
 - 世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)【文科省】：72億円 など
- イノベーション創出に資する機能の強化に向けて、産学官連携を通じた社会課題解決（産学官連携活動や、スタートアップ創出）を支援
 - 共創の場形成支援プログラム【文科省】：134億円 など
- 強みや特色ある研究力を核とした経営戦略の下、大学間での連携も図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速・レベルアップに必要なハードとソフトが一体となった環境構築の取組を支援
 - 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）【文科省】

③ 地域社会における大学の活躍の促進（1,120億円）※関連事業

- 各府省が連携し、大学の知を活用してイノベーションによる新産業・雇用創出や、地域課題解決を先導する取組みを一体的に支援

（事業の例）

<自動運転など>

無人自動運転サービス実装推進事業【経産省】：10億円

<地域脱炭素技術など>

地域脱炭素実現に向けた具体的施策実装支援事業【環境省】：6.3億円（内数）

<防災・減災技術など>

河川砂防技術研究開発公募【国交省】：2.4億円

<スマート農業技術など>

イノベーション創出強化研究推進事業（提案公募型研究事業）【農水省】：1.7億円（内数）